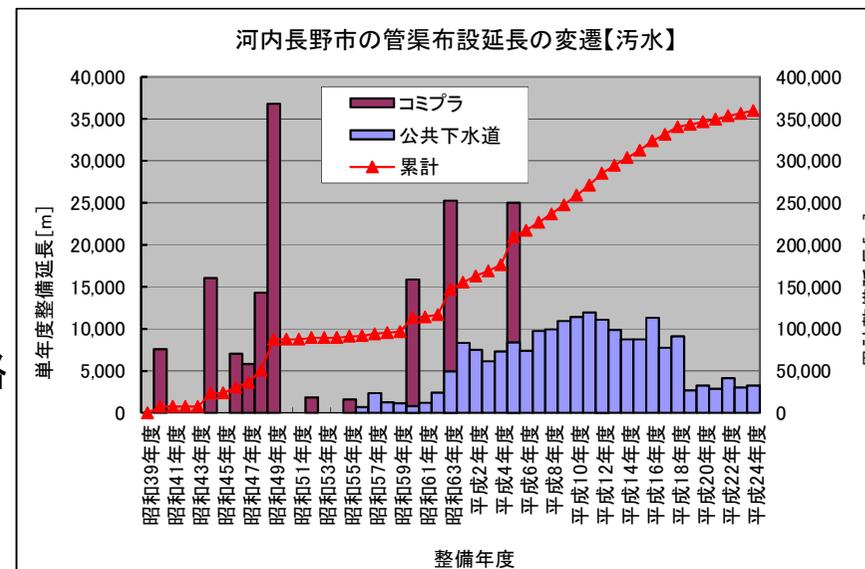


# 河内長野市における事業スキーム

---

## 導入検討に至る背景

- 河内長野市では昭和49年度に事業認可を取得し、流域関連公共下水道として整備を進めてきている。
- 開発団地(18団地)は当初コミプラで処理されていたが、昭和62年より移管を受け、順次公共下水道への接続替えを進めている。(残り1団地を平成25年度に接続予定)
- 整備済み汚水管路約360kmのうち布設後30年以上の施設は約91km程度(約25%)である。本市の管路施設は設置後長期間が経過し、施設の老朽化による道路陥没事故などの市民生活に大きな支障を及ぼすリスクが増大している。
- 現在、管路施設の維持管理は、市内を東西2地区に分割し、清掃やカメラ調査等の作業について見積競争による単価契約などを行っており、事後対応型の維持管理としている。



### 現在の維持管理等に関する業務委託内容

- ・緊急清掃、カメラ調査
- ・宅地内の詰まり等不具合の官民見極め
- ・ポンプ運転管理、保守点検
- ・マンホール蓋取替え(旧型、緊急)
- ＜長寿命化計画策定のための調査業務＞
- ・本管・取付管カメラ調査
- ・・・下水道施設清掃業務(単価契約)
- ・・・公共柵等維持管理業務(単価契約)
- ・・・公共下水道ポンプ施設維持管理業務
- ・・・マンホール蓋替え業務(単価契約)
- ・・・管内調査業務

## 導入目的

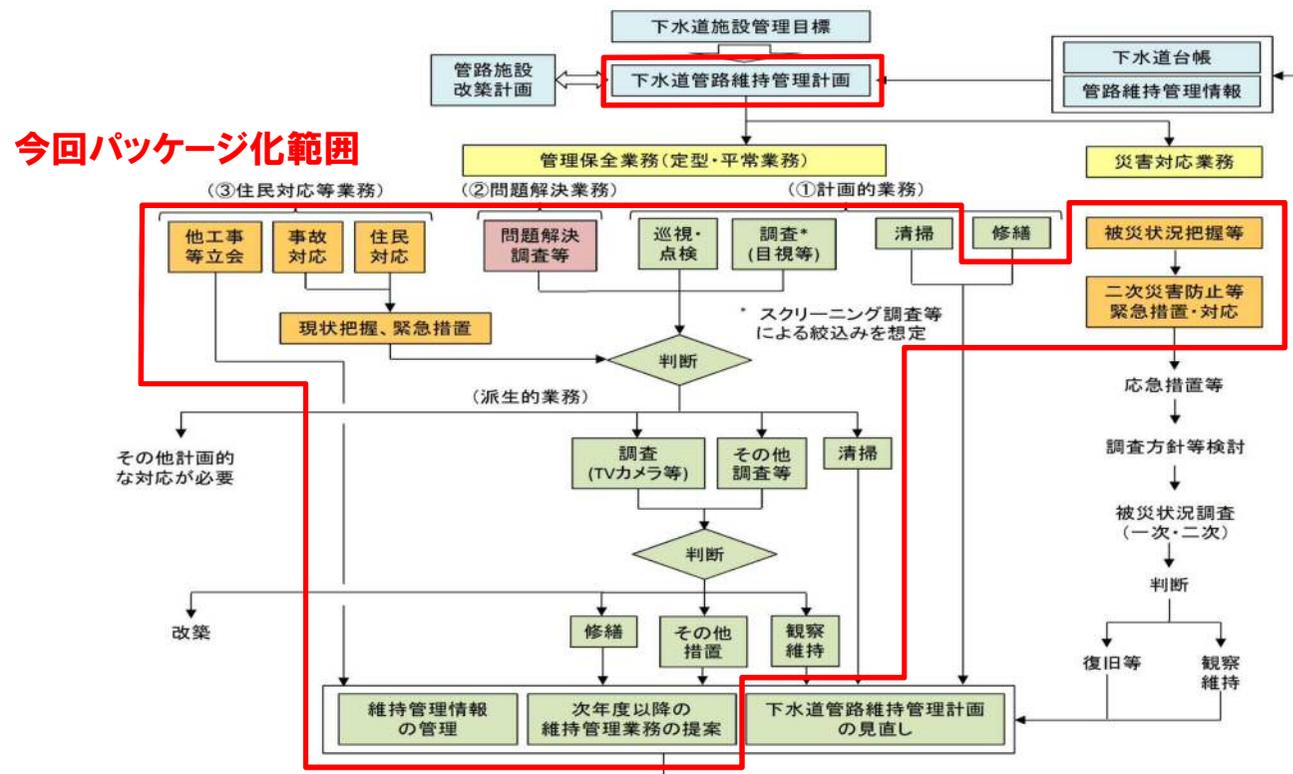
- 管路施設の老朽化に伴う緊急業務の急増を見据え、「事後対応型」から「予防保全型」への維持管理体制の転換
  - ・市民生活に影響する機能障害や道路陥没による二次災害の未然防止。
  
- 多様化する課題や職員数の減少、職員の経験・技術力不足への対応
  - ・民間事業者の技術力・ノウハウ、更には機動性を活用することによるサービスの質の向上。
  - ・点検、調査等に応じた計画的対応と、迅速かつ適切な事故・住民対応。
  - ・一元管理による維持管理計画の策定及び見直しで業務の質改善。
  - ・職員の事務負担軽減で、他業務への傾注による事務全般の質の向上。
  - ・応急復旧工事などの突発的な支出経費の抑制と、計画的修繕による維持管理経費の低減。

## 契約方式

- 今まで個別に委託していた住民対応業務(管の詰まり・苦情など)に加えて、巡視点検・調査や定期清掃及び長寿命化計画に係る調査業務や計画策定業務を包括的に委託し、2か年契約とする予定。
  
- 公募方法はプロポーザル方式を予定。

## 事業スキーム(案)

- 現在、市では市全域を東西2地区に分けて、住民対応業務について緊急清掃、官民見極め、中継ポンプの維持管理など、個別に委託している。
- 今回は、予防保全型に移行するための第1ステップとして、開発団地6地区(北青葉台、南青葉台、南ヶ丘、大矢船、日東町、大師町)について、住民対応業務に加えて、巡視点検、定期清掃、中継ポンプの維持管理等を包括的に委託する予定としている。また、長寿命化計画の策定作業についても併せて委託することを考えている。
- 次回以降については、対象エリアをさらに拡大し、不明水対策等についても取り組んでいくことを考えている。



## 包括的民間委託の導入を進めていく上での課題(1/2)

### 導入検討について

#### ○庁内合意

- ・道路陥没が増加傾向にあり、財政上のこともあるが、二次災害、特に、人身事故に対する危機感、必要性から予防保全型への転換について庁内合意を得る。

#### ○維持管理業務の将来構想

- ・導入に際しては、包括委託の対象区域の拡大を視野に入れ、委託業者の活動拠点とする管理ステーションや市民からの連絡を受ける専用電話回線の設置など、将来を踏まえた施設準備を検討している。

#### ○長寿命化計画について

- ・平成27年度に第2期長寿命化計画の策定を予定しており、対策が将来にわたり継続するため、包括委託に長寿命化計画策定を含めて取り組んでいる。

#### ○交付金事業のパッケージ化

- ・交付金対象となる長寿命化計画策定および策定に係る調査を複数年契約でパッケージ化する場合、交付申請手続きや契約手法を検討している。

#### ○修繕工事費と委託料、支払方法

- ・修繕工事をパッケージ化した場合、発注する工事費を委託料に計上する手法や工事費の支払方法の検討。
- ・支払限度額の設定、出来高精算払いなど。

## 包括的民間委託の導入を進めていく上での課題(2/2)

### 今後の懸案事項や課題など

- 業務の発注形態を検討中
  - ・包括の各業務に対する「本市有資格者登録」の部門や許可業種の選定
  - ・委託業者との契約形態(JV方式または元請・下請方式)
  - ・地元業者の参入、貢献(地域に精通、迅速な対応)
  
- 導入した6団地の事業効果を検証し、委託対象区域や委託内容の拡大について、より効率的かつ効果的な維持管理の実施を検討していく。
  
- 予防保全型の維持管理実績額をもとに、今後、長期財政計画を策定する必要がある。
  
- 豪雨時に影響を受ける、下流の流域下水道中継ポンプ場や終末処理場の一時的負荷を低減するよう、開発団地老朽管の不明水対策についても包括委託の中で効率的に取り組んでいきたい。